

第3回三沢市協働のまちづくり推進懇話会概要

日 時：平成25年10月31日（木）

18時30分～19時45分

場 所：市民活動ネットワークセンターみさわ

出席者：4名

次 第

1. 開会

2. 出席者
- | | |
|-------------|--------------|
| ・名久井 正廣（会長） | ・五十嵐 耕司（副会長） |
| ・小比類巻 隆 | ・高田 弘明 |
| ・吉田 彰博（事務局） | ・細田 貴子（事務局） |

3. 今回の検討事項

①市民活動ネットワークセンターみさわ利用者アンケートについて

☆事務局説明

- ・このアンケートは、使った人の声を聞くためと、その中で出来るものについて対応するため、行うものです。前回の懇話会で出された意見を参考に、利用している方にお配りするアンケートとは別に、登録したものの、一回も利用していない方に送る、シンプルな内容のアンケートを作成しました。
- ・利用して頂いている団体については、来館した時にお配りし、帰るときに回収するという形式で行い、内容がこれであれば11月から開始したいと考えています。
- ・全く利用していない団体についてはメール、又は郵送して、電話をかけて回収に伺うということを考えています。なお、全く利用していない団体数は76団体中20団体です。

☆委員からの意見

- ・このアンケートの目的は要望を聞くためのもの、ということですか？
⇒使った方の生の声を聞くためと（一度も聞いていない）、開館の時間や備品など、要望のほか、改善について、対応できるものはすぐにやりたいという考えで、アンケートを行います。
- ・足が悪いので1階を使いたいとか、役所に届いていない現状を解析していくためにはこのアンケートは必要だと思います。
- ・アンケートは確かに必要だが、結局この施設は何をするために設置して、それをどう思っているのかについてや、全くそのことについて考えていない利用者がどのくらいいるのかなど、そういう意見を聞くためにアンケートをやるのかなど。
- ・この施設は活動場所の提供のほか、三沢市の市民活動や協働のまちづ

くりを進めるための場所として設置されましたが、その意識・考え方を聞くということもあるのではないかと思います。その他に不便なところを聞くのはいいけれども、要望だけなら、アンケートを取ったら何でもかんでもありになってしまう。自由に使えて無料だとなれば、「何でも欲しい」という事になると思います。

⇒アンケートを実施することで、利用する方によく言われることを解決したいという意味もあって、文字にしてデータを取り、改善して行くつもりでしたが、今お話しを聞いて、利用者の意識調査も入れる必要があると思いました。

⇒11月にまずアンケートを行ったとして、次の12月にはアンケートの項目を少しずつ変えて意識調査という部分も入れたいと思います。

・意識したことがあるのかないのかを聞くだけでもだいぶ違うと思います。利用者の8割が意識していなかったとしたら、いったい何が足りないのか、ということを考える事が出来ます。

⇒単純に、「協働という言葉を知っていますか？」という一文を入れるだけでも違いますね。

・「意見を書いてください」だと、なかなか書くのは難しいから、チェック式にした方がいいと思います。

・アンケートの結果について、その対応を貼りだしたら、またアンケートに答えてもらえると思います。

⇒アンケート結果の公表については、WEBに載せることはしていきます。

・アンケートの取りっぱなしは非難されるので、必ず集計しリアルタイムに掲示や市のHPに掲載しリアルタイムに公表した方がいいですね。

・アンケート用紙には、「そだなす館はこういうところです」という前置きを一文入れることで利用者の意識を促すことができるのではないかな。

・用紙のデザインは、注目してもらえるような柔らかい雰囲気にした方がいいと思います。

・生の声を聞くには自由記述がいいけれど、実際に書いてもらうのは難しいので、自由記述のスペースをなるべく小さくするようにして作ってはどうでしょう。

・「帰る際にご投函ください」とか、「次回ご来館時にご投函ください」という記述にして、急いで書かなくても、いつでもいいんだな、という印象を与えるようにしたらいいと思います。

②協働に関する研修会などの開催について（地域ワークショップ）

☆事務局説明

ファシリテーター養成講座を市の職員研修も兼ねて開催したらどうかということで前回提案しておりました。内容についてですが、時期はこれからですので、2月に行ないたいと考えています。

☆委員からの意見

- ・開催する位置づけは職員研修ですか？
⇒職員研修も兼ねますが、職員と一般市民が話し合う場です。
- ・「協働のまちづくりを支援するための講座の開設」というのが大義名分。その中に職員研修も兼ねて行うというのが同意を得やすい形。
- ・会議が進まないという状況が様々な場所であり、職員も様々な方と会って話を聞く機会がたくさんある中で、皆さんの意見を出してもらえりような手法・手段を身につける事が必要。そこでファシリテーターの養成が必要だと思います。
- ・コミュニケーションの取り方、話題の引き出し方とかを学ぶことがメイン。自分の関わる組織の中で、会議の雰囲気作りなど、どこでも活用できるものとなり、例えばテーマが防災だから俺は関係ないということではなく、自分の為になるものです。
- ・2月に開催予定のスケジュールということであれば、日本ファシリテーター協会や、あおもり NPO サポートセンターなどに聞いて、早急に講師を決めて進めてください。できれば実績のある方に来ていただくのがいいと思います。
- ・これまでの会議の概念は、議長がいて、トップダウンだったが、それではだめだということで、その場にいる人がそれぞれ考えを出し合い、全員が納得して思いを共有できるようになる道筋をつけるのがファシリテーターの役割。
- ・三沢市ではファシリテーター養成講座をやったことがないので、「おまたせしました。またとない機会です！」「組織の中で役に立つファシリテーター養成講座！限定30名早い者勝ち」、というような感じで、まちづくりを前面に出さず、チラシも堅苦しくない様に作成したほうがいいと思います。
- ・方向性が決まったので、事務局も懇話会の一員として講師を決めて、進めてください。PTA や学校の先生、企業に流してもいいのではないのでしょうか。
- ・講師が決まったら、講師の先生がやりやすいようにいろいろお聞きして進めて行けばいいと思います。

☆最後に

- ・欠席したメンバーへも概要を連絡して、一言でもいいので出来る限り皆さんから返信をもらうように申し伝えてください。

☆次回以降の日程について・・・11月27日（水）を予定。

4. 閉会

☆議題にはありませんでしたが、下記の内容についても意見が交わされました。

◎市民活動ネットワークセンターみさわの利用促進について

三沢市内には中央社会福祉センターや働く婦人の家など、無料で会議室の貸し出しを行っている施設があるが、ネットワークセンター（愛称：そだなす館）はまだ予約状況に余裕がみられる。そこで、利用者の選択肢の中に入れてもらえるよう、ここ以外の施設にそだなす館のポスターやリーフレットを置いてもらってはどうか。また、他の施設から、その利用者データをもらえることができるなら、その方々にもアンケートやリーフレットを送れないだろうか。事務局に検討して頂きたい。

◎利用者による協議会の設置について

- ・利用者が自主的・主体的に連携して作る「そだなす館協議会」について、現在はまだ組織化されていない。利用している登録団体は「お客さん」状態だが、利用者が自分たちで運営していくとなると、気持ちも変わってくると思う。
- ・利用者が連携をとりながらルールやマナーを作っていけば、コンセンサスを取った中でここを運営していくことが出来るかもしれない。将来的にその人たちが指定管理を取る可能性も出てくる。懇話会はそれをサポートする立場として意見を述べるという立ち位置。本来はこのアンケートも協議会の中でやるべき。
- ・指定管理となった団体に、好き放題使われるようなことになると困るので、指定管理を取った者は、任意の団体である協議会と連携を取れるような契約にしなければならないと思う。利用者の立場を守るためにも、今のうちから形を作っておく必要がある。
- ・協議会が立ち上がるのを待っていても、おそらく難しいので、行政が主導を取って、現在利用している団体の方々に声をかけて協議会を作ってはどうか。懇話会と連名でも構わないが、いずれにしろ、きっかけは行政が行う必要がある。
- ・協議会のメンバーの中には指定管理ができるような人が入っていないかと思いが、会議室を優先的に使用していて、問題となりそうな三沢市連合町内会や人権は、別物と考えて、それ以外の利用者で考えて行けばいいのではないか。